



令和5年12月20日

科学館

3シーズンの番組が1日で楽しめる！  
科学館プラネタリウムの冬休み特別企画

科学館のプラネタリウムでは、冬休みの平日限定で3番組を投影します！日本初公開となる冬番組「MOONBASE（ムーンベース）月面基地のミライ」をはじめ、大好評だった夏番組「新オーロラを見た恐竜たち 虹色に輝くアラスカの大地」も再投影します。

- 1 期間 12月26日（火）～28日（木）、  
令和6年1月4日（木）、5日（金）  
※所要時間は各回約50分（星空の生解説約25分＋番組約25分）
- 2 場所 科学館 プラネタリウム
- 3 料金 プラネタリウム観覧料 一般 410円 中学生以下210円  
年間券 一般1,670円 中学生以下830円  
※未就学児で座席を使用しない場合は無料  
※観覧料は1番組ごとに必要

4 内容

番組名	開始時刻	概要
MOONBASE （ムーンベース） 月面基地のミライ	11時30分	日本初公開！月面基地の未来を描いた話題の最新作。人類は再び月を目指し始めた。過酷な月の環境を生き抜く危険で難しいミッション。フルドームで味わう驚異の月面体験は必見。（冬番組）
新オーロラを見た恐竜たち 虹色に輝くアラスカの大地	13時30分	オーロラが輝く空の下、極地で生きていた恐竜たちの命のいとなみの物語。（夏番組）
ヒーリングアース	15時30分	世界各地の本物の絶景と星空でおくる究極のヒーリング科学番組。（秋番組）

※番組の前には、川口でその日に見える星や星座について、専門職員が生解説を行います。

Planetarium



プラネタリウム  
100周年



ムーン ベース

# MOONBASE

the next step 月面基地のミライ



ナレーション 瀬戸麻沙美

MOONRAKER ORIGINALS PRESENT MOONBASE THE NEXT STEP NARRATED BY NICOLE STOTT MUSIC BY ECHOIC EDITED BY GRAHAM WATTS

CREATIVE SUPERVISORS ALEX RUMSEY, GRAHAM STOTT, OLLY HAGAR EXECUTIVE PRODUCERS JON GRAFTON, RUTH COALSON PRODUCED BY EMMA KOLASINSKA, ALEX BRIGGS

WRITTEN BY JENNY SHIPWAY, MARTIN WILLIAMS VISUAL EFFECTS MOONRAKER DIRECTED BY GRAHAM WATTS, SIMON CLARKE BASED ON AN ORIGINAL CONCEPT BY GRAHAM WATTS



**投影期間 2023年12月9日(土)～2024年2月25日(日)**

※投影スケジュール等は都合により変更になる場合があります。最新の情報をホームページでご確認ください。

木曜日 (12月28日、1月4日、2月15日、22日を除く)

15:30

※2月15日(木)、17日(土)、18日(日)、22日(木)は空調設備工事のため投影を休止します。

土曜・日曜・祝日 (12月30日～1月1日、2月17日、18日を除く)

11:30 / 13:30

冬休み期間の火～金曜日 (12月26日～28日、1月4日、5日)

11:30

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約30分と番組「MOONBASE」20分) ■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円

■ 所在地 川口市上町2-12-10 (MUSEUM) ■ TEL 048(262)3431 ■ 本公演の申し込みはこちら <https://www.kawaguchi-science-museum.jp/>



川口市立科学館  
Kawaguchi Science Museum





# 人類の次のステップ—— 今再びの月へ!!

ムーン ベース  
**MOONBASE**  
the next step 月面基地のミライ

## 100年後、月面開拓はどうなっているのか?

1969年7月、人類は初の月面着陸を成し遂げた。それから50年以上の時間が経ち、人類は再び、月を目指し始めた。月に居住空間を作り、永続的に生活できるような月面基地を……。

地球からはるか38万kmを旅し、低重力、極寒と酷暑、有害な宇宙放射線や宇宙からの飛来物体など、過酷な月の環境の中を生きぬくための極めて危険で難しいミッション。どのようにミッションに挑むのか、また月が秘める無限の可能性とそれが人類に与える影響とは。月面基地は、月、そしてその先にある未知なる宇宙への扉となりうるのか。さあ、まずは最初の一歩を踏み出しましょう。フルドームでしか味わえない驚異の月面体験、ミッションに挑む冒険の物語が今、始まる。



### 月の基礎データ

地球からの距離	約38万km (東京～大阪間を約400往復)
月の大きさ	直径 約3476km (地球の約4分の1)
月の質量	地球の約81分の1
月の重力	地球の約6分の1
月の表面温度	月の赤道付近の観測では、昼は110℃、夜は-170℃と、その差は200℃以上もあります。



ナレーション

瀬戸麻沙美

『ちはやふる』綾瀬千早役、『呪術廻戦』釘崎野薔薇役、『推しの子』不知火フリル役など、人気作品の主要キャストを数多く担う。



七〇〇〇万年前の世界へ！

Planetarium



プラネタリウム  
100周年

# 新オーロラを見た恐竜たち

虹色に輝くアラスカの大地

©D&Dピクチャーズ

冬休み期間の平日限定！！

12/26(火)、12/27(水)、12/28(木)、1/4(木)、1/5(金) 13:30

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約25分と番組「新オーロラを見た恐竜たち」25分)

■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円 ■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIP シティ内

■ TEL 048(262)8431 ■ ホームページ <http://www.kawaguchi-science-museum/>



川口市立科学館  
Kawaguchi Science Museum





# 新オーロラを見た恐竜たち

虹色に輝くアラスカの大地

## 雄大なアラスカの大地、 夜空を照らすオーロラ

約7千万年前、地上が多様な恐竜であふれかえっていた白亜紀。肉食恐竜・ナヌークサウルスの子ども「ヌック」と、植物食恐竜・アラスカケファレの子ども「ファル」。本来決して交わらないはずだった異なる種族である2匹の数奇な運命と絆。鮮やかなオーロラが輝くアラスカの美しい空の下、太古の昔に極地で生きていた恐竜たちの命のいとなみの物語です。



ヌック  
ナヌークサウルスの子ども



ヌック  
ナヌークサウルスの子ども



ファル  
アラスカケファレの子ども

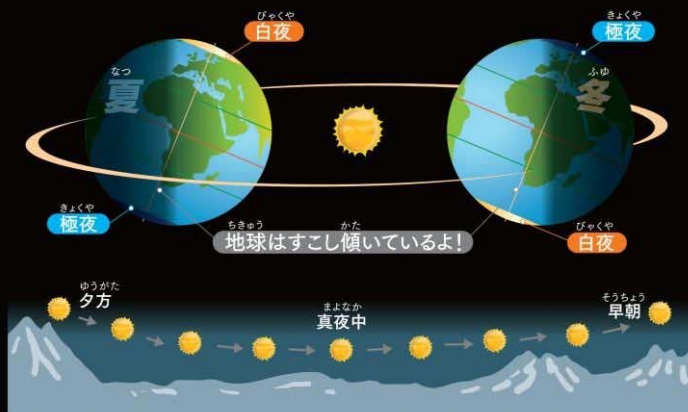


### 北極の夏は、太陽が沈まない？

北極や南極では、一日中太陽が沈まず明るい日があり、これを「白夜」、反対に一日中太陽が沈んだまま暗い日もあり、これを「極夜」といいます。

### どうしてこのような不思議なことが起こるのでしょうか？

地球は太陽の周りを1年間かけてまわっており、そして地球自身もまた24時間で1回転しています。地球のまわっている軸(地軸)は垂直ではなく約23.4°傾いており、この傾きのために、北極では地球が1回転、つまり24時間経っても常に明るいエリアにあります。これが夏の沈まない太陽です。同じように冬は24時間経っても常に暗いエリアに位置するため、太陽は昇らず、ずっと暗いままになってしまうのです。



白夜の前後には太陽が地面すれすれをころがるように移動します

### Point

白夜や極夜の日数は、高い緯度の場所ほど多くって、北極点では、なんと約半年間白夜と極夜が続くよ！





プラネタリウム  
100周年

# ヒーリングアース

HEALING EARTH

## Location

ウユニ塩湖 / ボリビア  
トロムソ&スヴァールバル諸島 / ノルウェー  
ハワイ島 / アメリカ

## Music

Aesthetic / 関山藍果  
The History of the Day / No.9  
Moment ~会いたい~ / Yucca  
果てしない宇宙の向こうへ / 石毛駿平  
SOS / SEKAI NO OWARI

心をいやす 究極の星空

©2020 NHK ©NED/D&Dピクチャーズ

2024年2月25日(日)まで投影延長

※ 投影スケジュール等は変更になる場合があります。最新の情報をご確認ください。

土曜・日曜・祝日(12月16・17・23・24日、12月30日~1月1日、2月17・18・24日を除く) 15:30  
冬休み期間の火~金曜日(12月26~28日、1月4・5日) 15:30

■ 投影時間 約50分(星空の生解説約25分と番組「ヒーリングアース」25分)  
■ 料金 プラネタリウム観覧料 一般410円 中学生以下210円 ■ 所在地 川口市上青木3-12-18 SKIP シティ内  
■ TEL 048(262)8421 ■ ホームページ <http://www.kawaguchi-science-museum.jp/>



川口市立科学館  
Kawaguchi Science Museum





# 全天を覆う世界の絶景へ あなたをお連れします

## ウユニ塩湖

南米ボリビアにある世界最大の塩湖。かつてアンデス山脈が海底から隆起したとき、地上に残った海水がこの塩湖をつくったという。高低差が50cm以内と世界で最も平らな場所にあるウユニ塩湖では、湖面に夜空を映し出す神秘の絶景を見ることができる。

## スヴァールバル諸島

ノルウェーの北部、地球上最北の町がある群島。北極探検の基地として長い歴史がある。ここでは夜空を照らす光のカーテン、オーロラが見られる。特に冬は太陽が昇らない極夜になるので、一日中オーロラを楽しむことができる。

## ハワイ島

太平洋の真ん中に位置し、日本人に人気のリゾート地の一つであるハワイ。中でもハワイ島では、豊かな自然と地球の息吹を感じることができる。またマウナケア山頂は、世界で最も天体観測に適した場所の1つとされ、世界中の望遠鏡が建設されている。



### 監督: 糸屋 覚 Itoya Satoru

エンジニア時代に自ら開発した360度カメラで世界初全天周オーロラの撮影に成功したのを機に映像の世界へ。現在は360度22Kで撮影可能なカメラMAKIBISHI-2を開発。撮影のみならず高精細なVR映像やドーム映像の制作、NHKをはじめ、大手企業プロモーション映像など幅広く手掛ける。



### ハイパー・シュプリーム・カム(HSC)

ハワイ島マウナケア山頂にある日本の国立天文台・すばる望遠鏡に搭載され、2013年から稼働している超広視野の主焦点カメラ。116個のCCD素子を配置し計8億7000万画素で、満月9個分の広さの天域を一度に撮影できる。